

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場会社名 新日本理化株式会社

上場取引所 大

コード番号 4406 URL <http://www.nj-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤本 万太郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 加藤 純

TEL 06-6202-6598

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	18,952	△26.4	△295	—	△190	—	△237	—
21年3月期第3四半期	25,738	—	250	—	316	—	232	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△6.38	—
21年3月期第3四半期	6.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	31,000	10,857	35.0	290.92
21年3月期	31,282	10,640	34.0	285.10

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 10,849百万円 21年3月期 10,632百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,400	△14.2	110	—	130	—	110	—	2.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 38,008,906株 21年3月期 38,008,906株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 715,626株 21年3月期 714,810株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 37,293,562株 21年3月期第3四半期 37,298,423株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想、見通し等は、作成時における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により、実際の業績が異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を含むアジア向け輸出や政府の緊急経済対策の下支え効果により、金融危機後の深刻な悪化状況から立ち直りを見せつつあるものの、依然として雇用情勢の厳しさが継続しているほか、デフレ傾向が一段と強まるなど、民需の回復にはなお時間を要するものと思われまます。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、収益確保のため、高付加価値製品の販売を積極的に展開するほか、新規開発品の上市に向けて研究開発の加速を進めるとともに、徹底した経費削減の継続に努めてまいりましたが、世界的な需要低迷の影響もあり採算面では非常に厳しい経営状態で終始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は189億5千2百万円（前年同四半期比26.4%減）となり、収益面では、営業損失2億9千5百万円（前年同四半期は2億5千万円の営業利益）、経常損失1億9千万円（前年同四半期は3億1千6百万円の経常利益）、四半期純損失2億3千7百万円（前年同四半期は2億3千2百万円の四半期純利益）を計上する結果となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 油脂製品セグメント

脂肪酸・グリセリン等の油脂製品部門では、主要需要先である樹脂・安定剤メーカーにおいて在庫調整は解消されたものの、依然として需要の伸び悩む状況が続きました。

アルコール製品部門では、界面活性剤は生活関連向けに堅調に推移したものの、原料相場の下落に伴い、厳しい価格対応を余儀なくされたことから、採算面では前年に比べて落ち込みました。

以上の結果、油脂製品セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は73億9千7百万円となり、前年同四半期比17.9%の減少となりました。

## ② 石化製品セグメント

石化製品セグメントにおける化成品部門におきましては、主力の可塑剤が自動車向けでは政府の景気浮揚策効果もあって、堅調に推移したものの、需要の大半を占める住宅関連市場での低迷が続いているため、前年に比べて売上高は減少いたしました。

ベンゼン誘導体におきましては、自動車向けの需要が本格的な回復を見せたものの、加工品の輸入の影響もあって販売数量、売上高ともに前年を下回る結果となりました。

機能製品部門では、酸無水物の国内販売は自動車関連や電機分野に対し、堅調に推移したものの、住宅関連市場における需要不振が続き、低調に推移いたしました。また、輸出品も円高の進行などから採算が悪化いたしました。

樹脂添加剤は、需要先の稼働率が本格的な回復に至らず、未だ足踏み状態が続いております。

以上の結果、石化製品セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は115億5千5百万円となり、前年同四半期比30.9%の減少となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前年度末比 $\Delta$ 0.9%、金額で2億8千2百万円減少の310億円となりました。

流動資産につきましては、主として棚卸資産の減少により前年度末比 $\Delta$ 3.3%、金額で5億3千7百万円減少の155億1千9百万円となりました。固定資産につきましては投資有価証券の増加等により前年度末比+1.7%、金額で2億5千4百万円増加の154億8千万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が増加しましたものの、短期借入金その他の金銭債務の減少等により前年度末比 $\Delta$ 2.1%、金額で2億7千4百万円減少の125億4千4百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金の減少等により前年度末比 $\Delta$ 2.9%、金額で2億2千5百万円減少の75億9千7百万円となり、負債の部合計では、前年度末比 $\Delta$ 2.4%、金額で5億円減少の201億4千2百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純損失を計上しましたものの、評価・換算差額等の増加により前年度末比+2.0%、金額で2億1千7百万円増加の108億5千7百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は35.0%、1株当たり純資産額は290円92銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2千万円減少し、17億4千6百万円となりました。

営業活動の結果、資金は30億2千1百万円増加(前年同四半期は2千4百万円増加)しました。これは主に、たな卸資産の減少25億1千9百万円によるものであります。

投資活動の結果、資金は10億4千5百万円減少(前年同四半期は21億円減少)しました。これは主に、有形固定資産の取得10億1千9百万円によるものであります。

財務活動の結果、資金は19億9千5百万円減少(前年同四半期は21億6千5百万円増加)しました。これは主に、借入金金の減少19億2千4百万円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月5日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,781	1,782
受取手形及び売掛金	10,137	8,031
商品及び製品	1,797	2,738
仕掛品	921	1,842
原材料及び貯蔵品	781	1,439
その他	108	236
貸倒引当金	△8	△14
流動資産合計	15,519	16,056
固定資産		
有形固定資産	7,702	8,128
無形固定資産	241	284
投資その他の資産		
投資有価証券	7,059	6,280
その他	478	532
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,536	6,811
固定資産合計	15,480	15,225
資産合計	31,000	31,282
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,661	4,064
短期借入金	5,441	6,941
未払法人税等	18	33
賞与引当金	38	100
その他	1,384	1,679
流動負債合計	12,544	12,819
固定負債		
長期借入金	4,972	5,397
退職給付引当金	1,827	1,826
役員退職慰労引当金	13	13
その他	783	585
固定負債合計	7,597	7,822
負債合計	20,142	20,642

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	1,267	1,504
自己株式	△168	△168
株主資本合計	11,006	11,244
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	822	384
繰延ヘッジ損益	△33	△31
為替換算調整勘定	△946	△964
評価・換算差額等合計	△156	△611
少数株主持分	8	7
純資産合計	10,857	10,640
負債純資産合計	31,000	31,282

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	25,738	18,952
売上原価	22,194	16,488
売上総利益	3,543	2,464
販売費及び一般管理費	3,293	2,760
営業利益又は営業損失(△)	250	△295
営業外収益		
受取配当金	111	84
持分法による投資利益	205	172
その他	25	63
営業外収益合計	342	319
営業外費用		
支払利息	148	154
デリバティブ評価損	64	21
その他	63	38
営業外費用合計	276	214
経常利益又は経常損失(△)	316	△190
特別利益		
償却債権取立益	—	35
特別利益合計	—	35
特別損失		
固定資産除却損	27	5
投資有価証券評価損	36	36
減損損失	—	12
その他	12	6
特別損失合計	75	61
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	240	△217
法人税、住民税及び事業税	13	13
法人税等調整額	△4	6
法人税等合計	9	19
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	232	△237

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	240	△217
減価償却費	900	894
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△195	△61
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△142	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	0
受取利息及び受取配当金	△120	△88
支払利息	148	154
持分法による投資損益(△は益)	△205	△172
固定資産除却損	27	5
投資有価証券評価損益(△は益)	36	36
減損損失	—	12
売上債権の増減額(△は増加)	△290	△2,105
たな卸資産の増減額(△は増加)	△599	2,519
仕入債務の増減額(△は減少)	△12	1,597
その他	192	431
小計	△25	3,003
利息及び配当金の受取額	237	183
利息の支払額	△161	△141
法人税等の支払額	△26	△23
営業活動によるキャッシュ・フロー	24	3,021
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△20
定期預金の払戻による収入	17	—
有形固定資産の取得による支出	△1,823	△1,019
投資有価証券の取得による支出	△6	△20
関係会社株式の取得による支出	△293	△9
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1	—
貸付けによる支出	△18	△34
貸付金の回収による収入	36	31
その他	△14	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,100	△1,045



(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,970	9,680
短期借入金の返済による支出	△11,120	△11,960
長期借入れによる収入	2,712	1,200
長期借入金の返済による支出	△1,115	△844
社債の償還による支出	△30	—
配当金の支払額	△185	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△65	△70
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,165	△1,995
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	99	△20
現金及び現金同等物の期首残高	1,481	1,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,580	1,746

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	油脂製品 (百万円)	石化製品 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,012	16,726	25,738	—	25,738
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,012	16,726	25,738	—	25,738
営業利益又は営業損失(△)	△0	1,704	1,704	(1,454)	250

(注) 1 事業区分は、当社製品の種類・性質に応じて、油脂製品、石化製品にセグメンテーションしております。

2 各事業の主な製品

(1) 油脂製品……硬化油、脂肪酸、グリセリン、高級アルコール、ロジン誘導体

(2) 石化製品……可塑剤、ベンゼン誘導体、酸無水物

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	油脂製品 (百万円)	石化製品 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,397	11,555	18,952	—	18,952
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,397	11,555	18,952	—	18,952
営業利益又は営業損失(△)	△64	964	900	(1,195)	△295

(注) 1 事業区分は、当社製品の種類・性質に応じて、油脂製品、石化製品にセグメンテーションしております。

2 各事業の主な製品

(1) 油脂製品……硬化油、脂肪酸、グリセリン、高級アルコール、ロジン誘導体

(2) 石化製品……可塑剤、ベンゼン誘導体、酸無水物

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

在外連結子会社及び在外支店がありませんので、開示を行っておりません。

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。